



光、風、家族の声、香り、肌触り。  
五感を満たそう、木の家で。

木の家で「味わう」暮らし。



平成29年度

いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

# 木の家で「味わう」暮らし。

茨城の気候風土で育まれた

県産材の魅力あふれる家をご紹介します。



## 地元の大工が地元の木で作る。 日本の「いい家」のつくりかた。

■地元の大工が地元の木で作るといい家になる、と言われる。南北に長い日本は気象や地理条件が地域で異なり、その土地独自の材の選び方、組立方など長年積み重ねられた経験や工夫を取り入れる地元の大工こそが、長く住める家を建てられるからです。また、地域大工・工務店は完成後もきめ細かいアフターメンテナンスや修繕に対応します。地域には信頼関係に根ざした安心できる家づくりのシステムが構築されていたのです。■茨城県では家づくりの原点に戻り、地域が育んだ木材を利用し現代のライフスタイルに合う木造住宅を適正な価格で提供するため、地域の木工・工務店と建築設計事務所が連携・協力しながら、家づくりを通して建築主との信頼関係を育てていく、安心と信頼の地域ルール「いばらき地域適合型木造住宅供給システム（自然が育み、人の和が育てる）」を確立したいと考えています。■関連事業者の連携、協力のもとに提供された良質な木造住宅の企画や提案を含む建築実例を募集し、ここにまとめました。皆様の家づくりの検討の一助となれば幸いです。

## Contents

- ひたち野うしくの家 …… 岩瀬卓也建築設計事務所＋(株)木楽工房 01
  - 現代の曲がり屋 …… (有)宮本建築アトリエ＋(株)フォルムデザイン 02
  - くらぐす …… Live Haus 建築設計所＋大跳工業 03
  - 田園を臨む片流れ屋根の家 …… 環建築事務所＋菊地建築 04
  - ひのきの森に暮らす …… 豊浦建築設計事務所＋鈴木工務店 04
  - 回遊のいえ …… 生空感建築研究所＋(株)いえつなぎ 05
  - t e t o t e : e d o d e s i g n 級建築士事務所＋(有)企画設計室タカハシ 05
  - 中庭のある家 …… AOKI住宅設計＋(株)青木住設 06
  - 丸い大黒柱が家族の成長を温かく見守る家 …… 佐川一級建築設計事務所＋佐川建匠 06
  - 日本の木と漆喰でつくる家 …… 丸和建设(株)＋丸和建设(株) 07
  - 森に寄り添う別荘のような家 …… 飯田貴之建築設計事務所＋(株)大崎材木店 07
- 【講評】 …… (一社)茨城県建築士会会長 柴 和伸 09

●…平成29年度いばらき地域適合型住宅コンペ最優秀賞作品 ●…優秀賞作品

※表紙および作品紹介以外のページに掲載された写真はすべて「最優秀賞：ひたち野うしくの家」のもので、  
※受賞者の意向等により、「坪単価」「延床面積」等の掲載がない作品もございます。ご了承ください。 ※各作品の「坪単価」は税別価格です。

最優秀

# 「ひたち野うしくの家」

岩瀬卓也建築設計事務所 + (株)木楽工房



食堂から見る子供室 建具上部で直交する梁(松丸太)は、施主と共に山林で伐採したもの



居間から見る食堂と台所



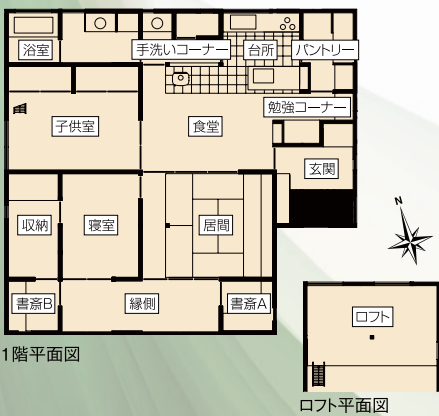
玄関から見る洗い場



南東側から見た外観

空間に広がる産地の風景。  
未来に残すべき家は森とつながっている。

■長閑な平野に建つ薪ストーブのある平屋の住まい。家族構成の変化にも対応で玄間脇には、納屋・薪置き場と並んで洗い場を設けた。提案した。■建具上部で直交する梁は、施主と各工程と夫妻の書斎があり、深い軒の出の日射調節によって四季折々の居心地を楽しむことができる。田の字状に配置した居間・食堂・寝室・子供室の四部屋は、各居室間の引込建具の開閉によって、様々な利用状況に対応しつつ時間帯や季節に適した間取りを選択できる。特に子供室は将来的にセカンドリビングや多目的な利用も厳選している。



1階平面図

ロフト平面図

申請者：岩瀬卓也建築設計事務所

0294-72-6121

工事施工者：(株)木楽工房 0294-85-8686

延床面積(坪)：131.37m<sup>2</sup>(39.74坪)

優  
秀

# 「現代の曲がり屋」

(有)宮本建築アトリエ + (株)フォルムデザイン



リビング・ダイニング / 庭の景観を堪能できる、視覚的な広がり開放的。



外観(北側) / 木材をふんだんに使用した格子組でプライバシーを確保。

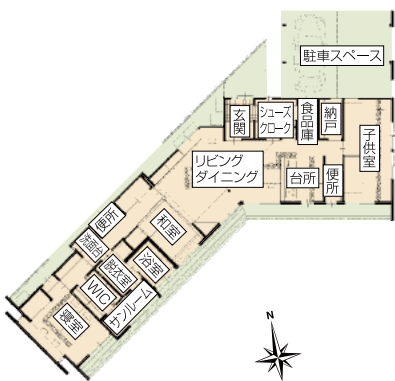


外観(南側) / 印象的な外壁と直線の組み合わせが斬新。

水平性を強調する直線が印象的。視覚的な広がりと木遣いが光る。

■緑豊かな立地。ここで生まれ育った施主が、両親の住む母屋の隣に建てた。先代から暮らす、手入れされた母屋や庭との程よい距離感と連続性を意図した。「母屋との対照から、水平性を強調したデザイン。一方で色彩は合わせて、新たな調和を模索しました。母屋と別のアプローチを用い、親世帯との程よい距離感に配慮し、南庭に向けて開放感を持たせました。」北側が敷地の顔の部分。県産材の杉材を利用した格子組壁を建物と二体に設け、外壁との間に給湯設備やエアコン室外機を設置し、路地庭的な使い方も出来る。プライバシーを確保し、

シンプルで美しい外観。「庭を囲む」の字型の平屋建て。全ての部屋を南庭に面して配置し、つながりや採光、通風、眺望にも配慮しました。リビングやダイニング、キッチンを中心に、東の母屋側に子供室と西側の水廻りと寝室とが一直線上につながる、使いやすい動線です。」■合理的な架構やスパンの計画で県産材の構造材を積極的に利用。また、柱を現しにするなど、化粧材としても活用した。勾配天井に県産材杉の小幅板を使用し、リビングやダイニングだけでなく、廊下や寝室、子供室までも同じ仕上とすることで、木に包まれて生活できる空間となった。



平面図

申請者：(有)宮本建築アトリエ
029-244-7711
工事施工者：(株)フォルムデザイン
029-241-5510
延床面積(坪)：123.17m <sup>2</sup> (37.26坪)
坪単価：657,500円

優秀

「くらすす」

Live Haus 建築設計所 + 大跳工業



移設し、屋内にはめこんだ板倉。



玄関からリビングを見る／リビングは板倉の空間を延長してつくった。



外観／印象的な外観が美しい。



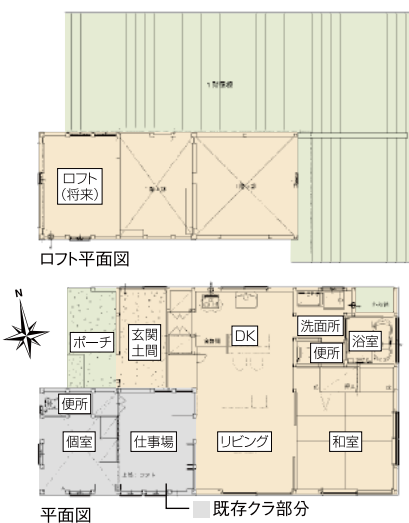
和室も石膏ボード直仕上の柔らかな色合いで統一。

板倉を室内に据え、  
時空を越えた新旧の調和を実現。

■物置だった六坪の板倉を仕事場兼個室として再利用するためクレーンで移設し、それを新築部が取り囲む構成とした。目指したのはシンプルなつくりとコストを抑えること。「新築部分の屋根は母屋を極力減らしたタルキ構造で天井の施工性を上げ、他方勾配天井とすることで、室内空間の最大化を獲得。外壁は、板目調のサイディングを新築部に、杉板のタテ張りを既存の板倉部の仕上げとし、新旧の対比をそのまま表現しました。石膏ボードの柔らかな色合いの中に、時を経て黒く存在感を増した板倉がプライスレスな年月の経過を体現し、また、貫製建具、家具材にも利用した。

■耐久性に寄与する構造材の殆どに利用。ポーチ軒天、板倉部外壁等要所に利用。手の触れる木

を用いた昔ながらの技術を現代に伝える美術館のような役目も果たしています。」石膏ボード仕上げは、消極的な選択の結果ではなく、かつて離れの二室にも使われていた経緯がある。使い勝手は もちろん、勾配天井のキッチンや和室など、部屋同士のつながりを感じながら、広がりや大らかさを感じながら、造園家の施主が敷地から出た御影石を活用しながら外構工事を進める予定で、完成までの時間をも楽しむ家だ。



申請者：Live Haus建築設計所

029-857-6944

工事施工者：大跳工業 0293-43-1646

延床面積(坪)：82.62m<sup>2</sup>(25坪)

坪単価：336,700円

# 田園を臨む 片流れ屋根の家

環建築事務所  
+ 菊地建築



■ 傾斜地の特性を活かし、片流れ屋根を採用。室内からも木の温もりを感じる「魅せる屋根」。大屋根の圧迫感を抑えるため屋根を三つに分割し高さに変化を付け立面的に楽しめる外観にした。東西に長く南北に短い、採光性高く風が通りやすいつくり。■ 壁面から突き出す「片持ち木階段」は木材のみで構成。LDKは階段梁、登り梁やルーバー等に木材をふんだんに使い、落ち着ける空間。勾配天井を採用することで採光を確保。田園からの涼しい風が吹き抜ける、明るく爽やかなLDKを実現した。



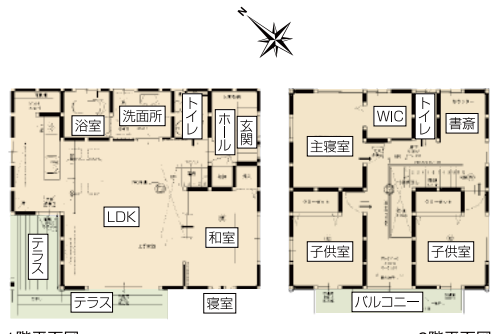
申請者：環建築事務所 0296-72-5325  
 工事施工者：菊地建築 0296-72-5634  
 延床面積(坪)：183.84㎡(55.61坪)  
 坪単価：643,230円  
 1階床面積：160.58㎡(48.58坪)  
 2階床面積：23.26㎡(7.03坪)

# ひのきの森に暮らす

豊浦建築設計事務所  
+ 鈴木工務店



■ 先人の知恵の結晶、素材の持味を生かす真壁づくりで耐震性を高めた。吹き抜けの吊り橋のような廊下と存在感のある梁。南側の窓を上下階とも幅広く高くし、採光性を高めた。玄関には小さい屋根を、バルコニーは後付けとし、雨漏りの原因を排除。東南方面を重視し太陽光と通風を楽しむ空間を演出。LDKに通し柱を設け、重厚感を高めた。■ 茨城と福島、栃木三県にまたがる八溝山系から産出される良質な木材は、自然そのままだが残る豊かな森が育んだ。優しさも温もりのある健康快適な家を実現した。



申請者：豊浦建築設計事務所 0294-43-5153  
 工事施工者：鈴木工務店 0294-43-5153  
 延床面積(坪)：135.31㎡(40.93坪)  
 坪単価：545,000円  
 1階床面積：74.00㎡(22.38坪)  
 2階床面積：61.31㎡(18.55坪)

# 回遊のいえ

生空感建築研究所  
+ (株)いえつなぎ



■ 推定樹齢百年以上の松林が立つ太平洋が一望できる高台立地。暮らしの中に自然が寄り添う「アーバンアウトドア」を提案。松林を借景に、お子様が走り回れる家。二階の寝室からは水平線から昇る日の出を見られ、ルーバルコニーには、夏に水遊び&プールが出来るよう水栓、流しを設置。中庭吹抜けから伸びゆく樹木を楽しみつつ、月見台(縁台)読書など楽しめる工夫を織り交ぜた。上下階とも回遊できる動線。■ 柱は全て県産材。室内1F.LのLDK・寝室も床材一部に、県内森林生産の無垢フローリングを使用。

申請者	生空感建築研究所 0297-44-4472
工事施工者	(株)いえつなぎ 0294-33-7081
延床面積(坪)	174.89m <sup>2</sup> (52.90坪)
坪単価	510,000円(建物価格)
1階床面積	129.17m <sup>2</sup> (39.07坪)
2階床面積	45.72m <sup>2</sup> (13.83坪)



申請者	e do design 一級建築士事務所 029-886-3502
工事施工者	(有)企画設計室タカハシ 0297-52-4216
延床面積(坪)	121.25m <sup>2</sup> (36.6坪)
坪単価	642,076円
1階床面積	84.88m <sup>2</sup> (25.6坪)
2階床面積	36.37m <sup>2</sup> (11.0坪)



■ 建物は三つの箱の組合せで構成。玄関を入り、吹抜けの開放感ある階段室を通りLDKへ。異なる特徴のある空間が展開する心地よいリズム感がある。「手と手」をつなぐように、空間が自然と繋がる、住まう家族も、自然と繋がる家。■ 構造材は50%以上地域材を利用。光や緑、空を身近に感じられる快適で安らげる空間。簡単に家づくりの知識やイメージ写真を集められる時代、施主の嗜好も多様化する。いわゆる木造らしい家ではないが、いばらきの地域材を用いた事例のひとつとして提案する。

# t e t o t e

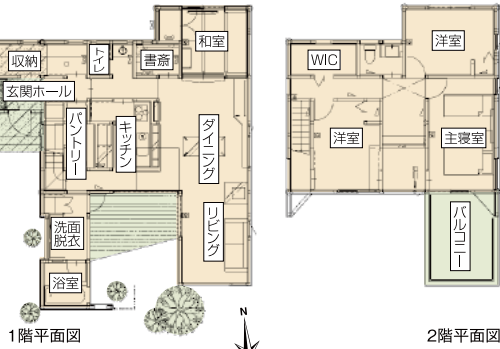
e d o d e s i g n 一級建築士事務所  
+ (有)企画設計室タカハシ

# 中庭のある家

AOKI住宅設計  
+ (株)青木住設



■見晴らしが良すぎるため景観を取込みつつプライバシーを守る中庭をつくり、採光と通風を考慮したパツンブハウス。キッチンと吹抜けを家の中心に、明るさと上下階のつながりが持てる計画。LDK、木製デッキの中庭を中心に、複数の回遊性ある平面計画で利便性と楽しさのある家。木材と好相性のセルロースファイバーの内断熱と合わせ、外断熱としたW断熱工法。■内外装材には八溝杉板、筑波山近郊や敷地内で採取した土、真壁近郊の石など。構造材は、柱を杉、土台を檜とし県産材を使用した。



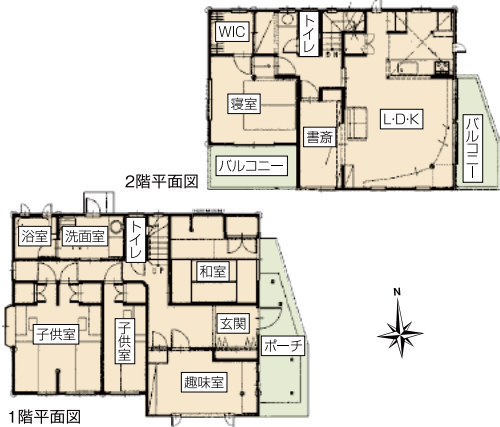
申請者：AOKI住宅設計 029-847-2821  
 工事施工者：(株)青木住設 029-847-2821  
 延床面積(坪)：126.35㎡(38.14坪)  
 坪単価：713,000円  
 1階床面積：76.25㎡(23.02坪)  
 2階床面積：50.10㎡(15.12坪)

# 丸い大黒柱が家族の成長を温かく見守る家

佐川一級建築設計事務所  
+ 佐川建匠



■「木に囲まれた生活、丸太をふんだんに使った家」が施主の要望。リビング中央を地域材の杉丸太が支える安らぎの空間を提案。■隣家があり、一階は採光確保が困難。年間を通して良好な採光を確保でき、構造体を現しにするのが容易なので、二階東にリビングを配置。室内側に縁台を設け、東から陽光と風が通り抜けるリビングに。屋根は北東から南西に棟を持つ切妻屋根とすることでどの面から見ても個性ある三角となり、周囲の住宅にも配慮した形。■構造材として柱、梁、桁等80%以上県産材を使用。



申請者：佐川一級建築設計事務所 0294-33-7957  
 工事施工者：佐川建匠 0294-85-0896  
 延床面積(坪)：143.25㎡(43.33坪)  
 坪単価：600,000円  
 1階床面積：77.01㎡(23.30坪)  
 2階床面積：66.24㎡(20.03坪)

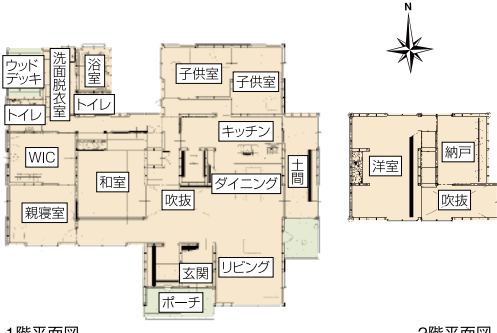


# 日本の木と 漆喰でつくる家

丸和建设(株)  
+丸和建设(株)



■施主の希望は、近くで製材する松材を中心に、構造・造作材すべて国産無垢材。既存の庭も活かす。地域材と漆喰の塗り壁の調和に配慮。外回りは地元のさび砂利を敷き、震災時に倒れた大谷石をアプローチに、使っていた式台のケヤキ材をカウンターとして利用し、新旧の融合を図った。外観は落ち着いた大屋根で、木の家の風合いが出るよう、母屋や破風板、ウッドデッキ等をアクセントにしている。■構造は、柱・土台・大引等に強度がある地域材の松を使用。梁は地松(5寸以上)を中心に使っている。



1階平面図

2階平面図

申請者：丸和建设(株) 0296-76-2771

工事施工者：丸和建设(株) 0296-76-2771

延床面積(坪)：199.84m<sup>2</sup>(60.45坪)

坪単価：661,704円

1階床面積：166.72m<sup>2</sup>(50.43坪)

2階床面積：33.12m<sup>2</sup>(10.02坪)

# 森に寄り添う 別荘のような家

飯田貴之建築設計事務所  
+(株)大崎材木店



■国道近く、かつ静かな環境。東側の雑木林は程よく手入れされ、花を咲かす低木、実をつける中木、季節感ある落葉樹など、借景として申し分ない環境を活かし、市中にあつて別荘のように落ち着く家を目指した。平屋のL型プランで、雑木林を散策する気分を味わえる、開放感とプライベート感を両立させる計画。■構造材は県産材の杉、桧。室内床に県材の杉を採用。垂木を現しにした天井と柔らかな無垢の床は、木に囲まれていることで安心感を感じさせる。



平面図

申請者：飯田貴之建築設計事務所

029-887-5332

工事施工者：(株)大崎材木店 029-288-3535

延床面積(坪)：109.72m<sup>2</sup>(33.19坪)

# 「いばらき地域適合型木造住宅」とは？

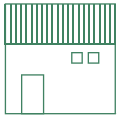
## 気候風土を踏まえ、地域材を活用してつくる家。

茨城県の気候・風土等の地域性を踏まえ、地域材(※)を活用し、かつ、ユーザーにとって充実感のある住宅とし、これからの木造住宅の指針となるべきコンセプトを明確にした住まい。

※地域材とは次のいずれかに該当する木材及び木材加工品。①県内の森林から生産された原木により製材されたもの。②県内の製材事業所で製材されたもの。

### 【主な設計基準】

- (1) 地域材を構造材全数量の50%以上使用していること。(2) 内装材として、地域材を積極的に活用し、快適でやすらぎのある住空間とすること。
- (3) 住宅の長期の耐久性を確保し、また、地域の自然、景観、生活様式等と調和し、世代を超えて継承・持続されるような工法・間取り・デザイン等を採用すること。



### なぜ地域材がいいの？

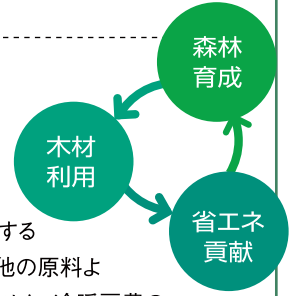
地域の森林の活性化を図り、地球にやさしい家づくりができるから。

■森林は、化石燃料などの代替エネルギーとして注目されています。成長期に高レベルの二酸化酸素削減効果を発揮し、地球温暖化の防止策としても役立ちます。■地域の森林資源を積極的に活用し、同時に植林を進め、常にバランスのとれた循環を整え、資源を生み出しながら、地球環境保護に貢献する森林を育成できる。地域材を使用する意義はここにあります。

### 木の家が地球環境を守る？

「森林育成」→「木材利用」→「省エネ貢献」。  
次代につなぐ、大切なサイクルです。

■森林を育成するためには、木材の利用を促進する必要があります。木材で建築資材を作ることは、他の原料よりも効率がよく、また余分なエネルギーがかかりません。冷暖房費の節約にもつながり、省エネへの貢献度も決して小さくありません。■家づくりに用いられた木材が、いずれ土をはじめとする自然に還り、また森林を育成していく…。自然の循環、持続可能なエネルギー確保のために、木を使って家を建てることは、非常に有用なのです。



## ご存知ですか？ 地域の木材を使うメリット。

### ① 地域の風土に馴染みやすい…

日本人は古来から、「地元の木を使った木造住宅」で暮らしてきました。今で言う「地産地消」です。木は、土地の気候風土、環境に適応しながら成長します。つまり、その土地で成長する`抵抗力、をつけながら育つ`ということ。家づくりにその適応力を活かすことで、丈夫な家を作りだしているのです。



### ② その土地の家づくりに精通した、身近なプロがいる

「その土地で育った木を使って、土地の大工が建てる家が最も丈夫」と言われる理由のひとつ。気候の変化や風の入り方、夏の暑さや冬の雪の量に対応する方法など、その土地でつくる家の「あり方」を最もよく知るのが、その土地の大工です。地域材を使うことを前提に始める家づくりに、地域の大工が関わります。色々なことを知り、教えてくれる身近なプロの知識を最大限に活かす家づくりはいかがですか。



### ③ 材料の輸送にかかるコストを軽減できる

建材を家づくりの現場に運び入れる運搬距離の短さは、そのままコストの低減につながります。同時に、輸送過程でのCO2排出量が、外材を使う家づくりの数分の一に抑えられます。お財布と環境への負荷が少なくなること。地域材を使う家づくりの、大きなメリットのひとつです。

環境に優しく、コストを抑えながら、丈夫で安心できる家の実現。  
あなたの大切な家づくりをていねいに支える、地域材のご利用を推進しています。

# 「平成二十九年 度 いばらき地域適合型木造住宅コンペ」の審査を終えて

一般社団法人茨城県建築士会  
会長 柴 和伸

平成二十九年 度「いばらき地域適合型木造住宅コンペ」には、建築設計事務所と地域の工務店、そしてそれぞれの専門技術者の皆さんが協力し合いながら知恵を結集し、地域が育んだ木材を活用し、現代のライフスタイルにあわせた木造住宅十五作品の応募がありました。

竣工した住宅作品によるコンペは今年で七回目を迎え、設計者・施工者の経験と知恵を傾注し、今回もそれぞれの作品が敷地を有効に活かし周辺環境に調和した作品となっています。地域の気候風土を踏まえながら、地域材を用い、設計者・施工者それぞれの経験や知恵によって培われた専門技術を注いだ住宅は、改めて木造住宅の素晴らしさを感じさせてくれました。

応募作品はいずれも、茨城県産木材を用いながら、木の持つ優しさ、あたたかさを生かした力作揃いとなりました。

審査は、七名の審査委員に応募作品の中からそれぞれが最優秀作品一点、優秀作品二点を選出、投票いただき、上位選出作品の中から審査員の講評をいただくながら慎重に検討の結果、最優秀作品「ひたち野うしくの家」、優秀作品「現代の曲がり屋」、優秀作品「くらす」の三作品に決定いたしました。

惜しくも選外となった応募作品も、それぞれが県産木材を生かした力作であり、応募された方々には審査委員長として感謝申し上げますと共に、次の機会にはさらに二層の力作の応募を、期待申し上げます。

## 【最優秀作品】

### 「ひたち野うしくの家」

木や山を知り、大切に作る心から育まれる伝統技術の継承をベースにした木構造は、仕口から造作材に至るまで、無垢材と手仕事にこだわり、循環型の軸組を実現しています。

深い軒の出によるやわらかな日差しは、四季折々の変化を楽しむことのできる居心地の良い空間を創り出しています。

日本家屋の特長である田の字型平面を生かした多様性のある間取りは、柔軟性を備えつつ、家族のつながりを一層深めながら、木のもつ優しい空間を次世代へとつなぐ作品となっています。

## 【優秀作品】

### 「現代の曲がり屋」

生まれ育った愛着のある土地に、両親の住む母屋との程よい距離感を保ちながら、その土地の特性を最大限に生かした計画となっています。

特徴のある「くの字」の平面は、水平性を強調し、母屋との連続性を意識しつつ、南面した庭を取り込み、落ち着きのある空間を創り出しています。

全ての部屋を南面させることにより、通風や採光とともに、眺望にも配慮された空間は、木材のもつ質感を、さらに高めた作品となっています。

## 【優秀作品】

### 「くらす」

既存の建物の、時を経て存在感を増した重厚な骨組みを生かし、新築部分との新旧を対比させつつ、それぞれの長所を生かしながら調和のとれた空間を創り出しています。

ローコストを目指しながらも、質感の違いによるコントラストを上手に生かし、土地の記憶としての建物の存在感を表現した空間は、土地柄への配慮と敬意を込めながら、広がりや大らかさを感じさせる作品となっています。

### ○審査委員長

柴 和伸（二社）茨城県建築士会会長

### ○委員

横須賀 満夫

（二社）茨城県建築士事務所協会会長

小薬 拓巳

（二社）茨城県建設業協会 建築委員長

森 秀男

（株）山森取締役会長

浅川 清司

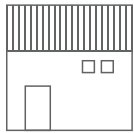
（茨城県木材協同組合連合会 木造建築部会長）

水越 健夫

（茨城県農林水産部次長兼 林政課長）

海老沢 和雄

（茨城県土木部都市局 住宅課長）



平成29年度  
いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

この冊子は「いばらき地域適合型木造住宅」の基本的な考え方を啓発普及するために作成されたものです。掲載される記事内容はすべて各チームからの提出書類を要約したもので、「宣伝広告」を意図したものではありません。  
また当連合会では、これら各グループへの仲介斡旋は一切行っておりません。



主 催／茨城県木材協同組合連合会  
協 力／茨城県  
後 援／(一社)茨城県建築士事務所協会・(一社)茨城県建設業協会

〈お問合せ先〉  
茨城県木材協同組合連合会  
TEL.0294-33-5121(代) FAX.0294-33-5191  
<e-mail>mokuren@atlas.plala.or.jp  
茨城県土木部都市局住宅課  
TEL.029-301-4759 FAX.029-301-4779